



日本共産党区議会議員
こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111（内線4650～4654）
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familye.ne.jp/~k-itou/index.html>

震災と原発事故の教訓を 生かし区民の命と 暮らしを守る先頭に



津波の4ヵ月後（宮城県女川町付近）
3・11から1年

区民の願いに財源を示し実現

日本共産党区議団

認可保育園の3カ所増設
肺炎球菌ワクチン助成
学校図書館の蔵書充実
歯周病予防健診の拡大
特養ホーム増設の推進
（入谷・古千谷本町・西新井・六月・佐野の5カ所）

区民の負担増しいる自・公・民と対決し前進



国基準の八割しかない事態を重く見た共産党は「子どもたちのために蔵書を増やすべき」と昨年からの追及。予算委員会での質問に「5年計画で100%めざす」と答弁。

歯周病予防健診は介護予防にもなる重要施策。歯科医師会との予算懇談会でたされた要望をとりあげ「拡大すべき」との共産党の提案に健診拡大の予算が盛り込まれ前進しました。

「特養ホームをつくらない」という区の姿勢を変えてきたのが共産党の粘り強い追及です。今回5ヶ所増設の地域を答弁させました。

区民のみなさんの「意見・要望をお寄せ下さい」。

今年も1500人以上の人が認可保育園（第一次審査）に入らず、深刻な待機児問題に区民から悲鳴が上がっています。

認可保育園の増設はきわめて切実な区民の願いで、日本共産党が粘り強く求める中で区は重い腰をあげ認可保育園増設へ転換。日本共産党の代表質問に3カ所（西新井・梅田、千住、綾瀬地区）増設を答弁しました。

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に助成（4月から実施）することも区は表明。4年越しの追及が実を結びました（共産党の質問がきっかけと

「さよなら原発あだち3・11パレード」



3月11日、西新井さかえ公園で行われた「さよなら原発あだち3・11パレード」に参加してきました。700人を超す参加者で被災地への追悼と原発ゼロの誓いを新たにしました。伊藤和彦

小中学校の学校図書館の本が

なり、他党も取上げて実現しました。

震災と原発事故の教訓を生かし区民のいのちとくらしを守る新しい区政の第一歩を

日本共産党予算修正案の概要

- 1、原発依存から抜け出し自然エネルギーの本格的導入に足を踏み出し、放射能対策を強化する。
給食の放射能検査 = 学校・保育園の全施設でおこなう。各保健総合センターに測定器を設置する
私有地の放射能除染対策 = 除染費用に5万円補助する
太陽光・風力を組み合わせた照明を公園に設置 = 災害時非常灯にもなる
- 2、防災計画事業を抜本的に強化し災害対策をつよめる
避難所の増設・備蓄の拡充 = 4万人分の避難所が不足しているので増設
耐震工事助成の拡充 = 木造住宅の耐震診断無料化、接道要件の緩和など
- 3、ストップ負担増 削られた区民サービスを復活する
生きがい奨励金 = 3000円への縮小を4000円に戻す
学校開放の有料化 = 従来どおり無料にする
- 4、住宅リフォーム助成の拡充など仕事をおこし雇用と中小企業を守る
住宅改良助成制度を改正し、リフォーム工事にも助成する
買い物難民対策 = 対象地域に移動販売する商店を支援する
- 5、保育所を増設し、待機児解消、子ども支援をつよめる
認可保育園の増設 = 区の3園増設計画にさらに3園加える。
不妊治療費助成 = 限度額10万円を助成する
- 6、学校統廃合を中止し、教育環境の充実をはかる
学校統廃合中止 = 道理のない学校統廃合の準備経費を削除する
小・中学校に日本語教室 = 昼間の日本語教室を設置する
公教育と教育の機会均等の原則に反する「はばたき塾」は中止する。
- 7、介護の負担と不安を軽減し、区民のいのちと健康を守る
介護保険料の値上げをストップする。介護保険特別会計内のできるがん検診の無料化 = 現在有料のがん検診すべてを無料にする
- 8、青年の未来を開き、区民の自主的な活動を応援する
青年住宅助成 = 学生・勤労者の家賃に月1万円の助成をする
天空劇場を区民に無料開放する = 西新井文化ホール閉館中の対応策
- 9、住宅政策の推進、安心安全のまちづくりを強める
公営住宅増設とエレベーター設置 = 住宅マスタープラン策定等。
- 10、障がい者のくらしをまもる
障がい者グループホーム・ケアホームの増設 = 不足する施設を増設する
精神障がい者福祉手当支給 = 1級の手帳保持者に福祉手当支給する。
- 11、核兵器廃絶を推進し、平和施策を展開する
被爆者見舞金の支給 = 現在23区中19区が支給。足立区でも支給する
- 12、不要不急の事業を見直し、予算修正に必要な財源を確保する
道路の新設事業 = 急がない開発地域への取り付け道路費用は先送りする
公立保育園の民営化はおこなう必要がないので事業費を削除する



本会議での伊藤和彦区議

財政の全体像を区民に示し、知恵を出し合って施策を前進させるべき！危機感だけあある区の姿勢は問題

3月1日から区議会予算委員会が始まりました。日本共産党は、近藤区政が「財政難」を最大の理由として区民施策削減や負担増を行い、自然エネルギーの本格的導入や震災対策、待機児対策などに消極的な姿勢を批判。姿勢を改めることを求めましたが、区は応じようとしません。

そこで独自の「予算修正案」を作成・提出して、財源の確保と区民施策の前進は可能である。区民施策の前進は可能である。二重三重に経済波及効果が図れるものです。

ためこんだ基金の

2・3%

年間予算の0・17%で実施できる

日本共産党の予算修正案は総額39億5000万円、72項目の新規拡充事業が実施でき、

区財政が今後厳しくなることは事実ですが、過度に危機感を強調し、不安をあおる姿勢は問題で、財政の全体像を区民に示し、区民とともに知恵を出し合って施策を前進させていくことは可能です。予算修正案はそのことを事実で示し、区民に希望を与えるものです。

ご意見をお寄せください。
03(3880)5770

3月13日、千住旭公園の重税反対集会に参加、連帯の挨拶をしました。東民商、東京土建などのみなさんと消費税増税反対、ムダをなくせと行進しました。

